

<横浜市議員 古川なおきの活動報告>

古川レポート

第15号
2001年11月20日発行
古川レポート編集部
〒241-0825
横浜市旭区中希望が丘
252-50
TEL391-4000/FAX366-9700
naoki@furukawa2002.com



古川なおきのメッセージ(十一月)

紅葉が美しい今日この頃ですが、皆様お元気に過ごしてようか。私は、来年度予算を審査する特別委員会を終え、十二月の本会議に向け勉強中です。さて、先日私はWFP(国際連合世界食料計画)職員の方を講師にお迎えし「世界の食糧事情とWFPの役割」というテーマで学生勉強会を主催させていただきました。この学生会は早稲田、慶応、神奈川、中央、立教、東洋、駒沢などの学生と私の友人で構成され、希望者は誰でも参加できます。WFPは東京に事務所を置くユニセフやユネスコ等他の国連機関とは異なり、私たちの街・「横浜」に日本事務所を構えています。これは、五年前に横浜市がみなどみらいに誘致した成果です。そこで、私たち横浜市民はWFPについて知る必要があると思います。今回のテーマに取り上げました。

普段普通に暮らしている私たち日本人は、景気が悪いので高価な食事は控えても、食べるものが全くないという人は少ないと思います。しかし、世界には飢餓に苦しんでいる人が約八億人おり、毎日二万四千人(そのほとんどは子ども)が餓死しています。私はまずこの厳しい現実から目を反らしてはならないと思います。

WFPは紛争や自然災害などで飢餓に苦しんでいる人々に食料を提供しています。その活動は常に危険と隣り合わせであり、アフリカの紛争地域では現地の職員が輸送中に襲われたり、紛争に巻き込まれたりして、過去十年間に五十七人も尊い命を失っています。今回の勉強会では、食料の大切さと平和のありがたさを実感すると同時に、この地球で同じ時間を共有している私達ができることは何か、真剣に考え、実行しなければならぬと思えました。現在もアメリカの報復攻撃がつづいているアフガ

ニスタンでは報復前から飢餓が続いて、この冬を越すことすら困難とされています。私は、罪のない一般のアフガニスタンの人々をこれ以上犠牲にしないこと、そして、これらの人々に対し自らの危険を顧みず食料を提供するWFPの活動を理解し支持することこそ、重要だと思えます。一日も早く地球上からテロ行為がなくなること、平和を知らないアフガニスタンの子どもたちに、恐怖のない毎日がもたらされることを望みます。

戦争や自然災害、環境問題はすべて食糧問題に係っています。国際社会における日本の役割は大きく、飢餓やテロなど世界の出来事を我が国のこととして考えなければならぬと実感しました。WFPの活動に興味のある方は遠慮なくご連絡ください。また、今後も様々なテーマで勉強会を続けていきますので、ご参加希望の方はお気軽にお申し出下さい。皆様のご意見を心よりお待ちしております。

<古川なおき11月~12月の予定>

- 11月17日 左近山第2小学校30周年記念式典
区民会議/学生勉強会
- 20日 横浜市全員協議会会議
- 22日 自民党本部青年部会議
- 23日 サッカー教室
- 24日 旭区ボースカウト・ガールスカウト合同行事
- 29日 市議会便り編集会議
ゆめはま2010プラン区民説明会
- 30日 横浜市政について講演
- 12月 1日 旭区スポーツ表彰式
- 2日 区内スポーツ団体式典
- 4日 早朝勉強会
交通問題対策特別委員会視察
- 5日 ゆめはま2010プランシンポジウム
- 6日 市会運営委員会
- 7日 市会運営委員会/本会議
国際ハブ空港シンポジウム
- 9日 区内スポーツ団体式典
- 11日 旭区議員団会議
- 12日 市会運営委員会/本会議
- 13日 総務企画財政常任委員会会議
- 14日 青年会議所会議
- 18日 総務企画財政常任委員会会議
- 20日 市会運営委員会/本会議
青年会議所会議

メールメッセージの配信をはじめました。古川なおきのホームページからあなたのアドレスをアクセスください!

www.furukawa2002.com